

令和3年度第6回  
大阪府市公立大学法人大阪評価委員会  
議事要旨

- 1 日時 令和4年2月10日（木）午後14時30分～
- 2 場所 大阪市役所 屋上階（P1）会議室
- 3 出席委員 （会場出席）高嶋委員長、田辺委員、奈良委員  
（ウェブ会議出席）梅田委員、戸部委員、平野委員  
（欠席）吉川委員

4 議事内容

（1）公立大学法人大阪第1期中期計画の変更について

- ・ 設立団体から資料1-3及び1-4に基づき、第5回評価委員会での意見を受けての中期計画の修正案について説明があった後、審議が行われた。
- ・ 審議の結果、修正意見があった中期計画本文に関しては、修正文章を委員長一任とし、中期計画変更案についての評価委員会の意見としては、認可することが適当と決定した。

<主な意見>

○ 研究力の強化について（計画番号：大12）

- ・ 卓越した研究者の育成のための研究支援と、若手及び女性研究者支援を重視することは、それぞれ目的が別のことだったと思う。卓越した研究者の育成と若手・女性研究者を分けるなど、この辺の文言の修正を検討いただきたい。

○ 研究推進体制の整備について（計画番号：大13）

- ・ 固有名詞だけ記載されてもわからないので固有名詞の前に〇〇をになう、などの役割に関する修飾語をつけて説明をしたらいいと思う。
- ・ 最初に各部門について記載し、その後に役割を記載しているが、最後まで読まないで役割がわからない。このあたりの表現をもう少し工夫してもらったほうがいい。
- ・ 学術研究監理部門のかかわりが全学にまたがっていることがはっきりわかるようにしてほしい。研究戦略室の中にあるようにも読める。

○ 自己点検・評価及び業務実績評価について（計画番号：法10）

- ・ 統合したあとの法人運営をいかに効率的に効果的にやっていくのかという部分もあるので、法人本部自体もPDCAサイクルに入れていただきたい。
- ・ 大学高専の点検評価を実施することは書いているが、法人自らの部分の評価も行うことを記載いただきたい。

○ 達成水準・数値目標に関して

- ・ 中期目標と中期計画の立て付けの中で、保守的になりがちだが、そうならないようにしていただきたい。
- ・ 法人においては、今後、妥当かつ挑戦的な、あるいは妥当かつ意欲的な達成水準・数値目標に取り組んでいただきたい。

以上